

# 第1次 中期計画

(平成26年4月～平成29年3月)

身近な仕事のお手伝い、

シルバーは安全・安心・安価です。

平成26年1月

公益社団法人 酒々井町シルバー人材センター

## 目 次

I	第1次中期計画策定に当たって	．．．．．	P 1
II	第1次中期計画策定期間	．．．．．	P 1
III	現状と課題	．．．．．	P 1-2
IV	目標数値	．．．．．	P 2
V	実施計画		
	1、会員の拡大	．．．．．	P 2-3
	2、受託事業の拡大	．．．．．	P 3-4
	3、適正就業と安全就業対策の推進	．．．．．	P 4-5
	4、研修の充実	．．．．．	P 5
	5、センター運営の強化	．．．．．	P 6
	6、普及啓発活動の充実	．．．．．	P 7
VI	資料	．．．．．	P 8-11

## I 第一次中期計画策定にあたって

公益社団法人酒々井町シルバー人材センター（以下「当センター」と云う）は今年6年目を迎え、シルバー人材センターとしての基盤が確立しつつあります。その一方、今まで見えなかった諸課題が浮かび上がってきました。

例えば会員のモチベーションのあり方、高齢化による健康管理、事務所の運営管理の確立等々改善すべき点が見受けられます。

昨今のシルバー人材センターを取り巻く環境は一般社会情勢を反映して大変厳しいものがあります。当センターは公益法人として、「自主・自立、協働・共助」の基本理念に基づき、従来以上に高齢者の就業機会の確保と提供に努力し、且つ地域社会に貢献することが求められています。

当センターはキャッチフレーズを最近設定しました。「身近な仕事のお手伝い、シルバーは安全、安心、安価です」この文言をモットーとして住民の方々にシルバー事業の浸透と理解を得て、高齢者の健康・生きがい増進と共に地域社会の一翼を担うことが必要です。

このような観点から、今後の行動指針として第一次中期計画を策定し、この計画を基本として事業運営を図っていきたいと考えます。

## II 第1次中期計画の期間

平成26年4月～平成29年3月                      3年間

## III 現状と課題

当センターは他のシルバーに比較して、新しく、小さな所帯です。こじんまりとして動きやすい反面、諸問題もあり、私たちが現在置かれている環境の中で最善の解決策を目指します。

(1) 会員の増加（特に女性）

酒々井町の人口に比較して会員の入会率自体は低くありませんが、仕事の増加に見合う会員の増加は必要です。高齢化社会に伴い、介護補助等の業務が増大することが予想されることから、女性会員の増加は特に重要です。

(2) 広報活動の必要性

当センターが平成25年に実施した住民意識調査によると、80%弱の人がセンターの存在は知っている半面、20%強の方が知らないと回答しており、今まで行ってきたチラシ配り、町広報紙等でのPRに加え、新しい広報のやり方を模索する必要があります。

(3) 人材育成の必要性

公益法人の組織として将来のリーダー格的人材の育成、指導が求められます。

## IV 目標数値

	H25年度	H28年度
会員数	136人	160人
粗加入率	1.8%	2.0%
受託金額	42百万円	53百万円
派遣契約金額	5百万円	5百万円
受託件数	1,100件	1,400件
就業率	83.1%	90%

注) H25年度数値は、予算又は11月末現在の実績値です

## V 実施計画

### 1、会員の拡大

#### (1) ホームページの充実

団塊世代はパソコン苦勞初世代で情報をインターネットで入手することを好む人たちと考えられます。

この世代の会員を増やす方策の一つとして、シルバーの的確な情報

提供手段としてのホームページの内容を常に見直し、充実していきたいと考えます。

(2) 作業員自身によるチラシポスティング

個人宅作業は「ある意味で作業見本の表示」であると考えます。シルバー業務の浸透を図るため、会員の協力を得て周辺住宅にチラシのポスティングを行います。

(3) 女性会員比率の向上

高齢化社会を迎え、介護関連事業や女性会員にふさわしい軽・短作業を開拓して、女性会員を増やす努力をします。

## 2、受託事業の拡大

平成24年度の事業実績は、民間事業の一部が派遣事業への切替により受注減が発生しましたが、総額では平成23年度を550万円増加の4680万円でした。

今後、受託事業の拡大を図るには、町の緊縮財政、町企業の規模等から多くの受注増は厳しい状況であり、新規事業の掘り起こしと約9400世帯の一般家庭からの受注拡大に向け力を傾注していくことが必要です。このことから、以下の項目を重点的に取り組んでいきます。

(1) 町委託事業の獲得

公共委託事業は、年々微増の傾向にあり、現状委託事業の随意契約継続を図るとともに、新規事業の掘り起こしに向け町当局との信頼関係を構築していきます。

(2) 福祉・家事援助・生活支援サービスの拡大

町住民の高齢化率が進行する中、福祉・家事援助・生活支援サービス事業は年々増えつつある状況にあります。

受注内容を分析すると日常生活におけるちょっとした困り事が多く、30分程度で済む簡単な仕事を、軽作業サービス事業(500円)として追加しました。これをチラシ等でPRし、高齢化社会に向けたサービス事業の拡大を図っていきます。

(3) 一般家庭受託事業の拡大

町の家帯数は約9400家帯です。平成24年度の受託家帯数は約380家帯で全家帯数の4%にとどまっています。

地域住民に信頼されるシルバーを目指して、お客様に質の良い仕事を納め、リピーターを増やすとともに受注先近隣へのクチコミを広め、さらに町広報・チラシ等でPRし一般家庭の受託拡大を図ります。

(4) 休耕地を活用した農業関連自主事業の検討

町農家の高齢化が進む中、休耕地が増えています。

休耕地の活用について町との協議を重ね農業関連自主事業の開発を検討していきます。

(5) 年度毎の目標金額

	H26年度	H27年度	H28年度
受託金額(千円)	50,000	51,000	53,000
派遣契約金額(千円)	5,000	5,000	5,000
受託件数	1,200	1,300	1,400

### 3、適正就業と安全就業対策の推進

(1) 適正就業の推進

- ① 「身近な仕事のお手伝い。シルバーは安全・安心・安価です」を当シルバーのキャッチフレーズとして、地域社会の日常生活に密着した臨時的かつ短期的な作業需要を重点的に掘り起こしていきます。
- ② 派遣事業は千葉県シルバー人材センター連合会と連携し、適切に進めていきます。
- ③ 長期就労対策として、交代のルール作りを検討しローテーションの促進を図りたいと考えます。また就業機会の公平化についても従来以上に努力します。

(2) 会員の健康管理

不断に「自分自身で健康を管理する」ことを徹底するよう注意喚起していきます。また、体調不調時は即時・即座に事務局に通知の上、健康回復に専念するよう周知します。

(3) 就業中の安全対策

基本的には、会員個人の安全意識と実行力で安全を確保することが必要です。事故を起こしやすい会員や何度となく加害／被害事例で名前の出てくる会員には特に注意を払い、作業依頼内容に対応した安全意識を喚起していきます。

また、団体作業時にはリーダーに注意を怠らないよう依頼します。

(4) 就業途上の安全対策

適宜、内／外部事故事例をホームページや広報紙等で周知して、注意喚起を図ります。

(5) 安全意識の向上

年間計画を作成し、内／外部講師による、安全講習、技能講習を実施します。

小集団会員による安全ミーティングを開催し、会員同士が隔意なく注意しあえるような雰囲気醸成します。

4、研修の充実

(1) 知識・技能の向上

剪定・草刈り及び襖・障子貼り講習会の実施を定例化し、技能に対応した配分金制度の導入を検討します。

(2) 安全の確保

作業安全・交通安全・熱中症予防等の研修会の充実と安全大会の開催を検討します。

	H26 年度	H27 年度	H28 年度
知識・技能の向上	←	定例化	← 配分金制度 →
安全の確保	←	定例化	← 安全大会 →

## 5、センター運営の強化

### (1) 事務局強化

- ① 現在事務局は、役員1名（常務理事兼事務局長）と臨時職員3名（会員）で構成されていますが、役員の複数化により、運営力の強化を図ります。

また、仕事量の増加に伴い、繁忙期については2人勤務体制から3人勤務体制へのシフトを可能にします。

- ② 今後、町及び住民の期待に応えていく上で事務局強化は欠かせない要素です。

強化に必要な人的資源の確保（事務局員の常駐化・人材斡旋等を含む）に向けて、町当局との協議を行い、支援を要請していきます。

### (2) 職群班編成と後継者の育成

剪定・草刈り及び襖・障子張りについては、職群班を編成し、リーダーのもとで職群班が主体となって作業を行うとともに後継者の育成に注力する体制を目指します。

### (3) 地域班の活用

現在の会報の配布等が主な活動から、センター運営への提案や親睦、ボランティア活動等を行う組織への転換を図るよう努力します。また、地域班の活動を活発化する中で、センターのリーダーの発掘・育成を図っていきたいと考えます。

### (4) 健全財政の確保

消費税アップやデフレ脱却等の影響を勘案した料金体系の見直しを図り、健全財政を維持していきます。

	H26年度	H27年度	H28年度
事務局強化		← 役員複数化 →	
	← 3人勤務体制 →		
職群班の編成と後継者の育成	← 準備 →		
地域班の活用	← 準備 →		
健全財政の確保	←		→



## 6、普及啓発活動の充実

### (1) ホームページの充実

ホームページを利用した仕事の依頼やお客様・町民の意見等の書き込み機能等、利用促進を図ります。

### (2) 町広報紙への掲載

単なる会員募集記事でなく、町民が関心を持つ様な記事を掲載するよう検討します。

### (3) センター広報紙の活用

年2回発行しているセンター広報紙の配布先を公共施設以外に拡大することを検討し、広く町民の皆様にセンターの活動状況を知って頂くよう努力します。

### (4) チラシの活用

イベント・店頭等でのチラシ配布に加え、仕事先周辺家庭へのポスティングを実施し、会員の募集や仕事の開拓に努めます。

### (5) 満足度・意識調査

一昨年度より実施している「会員意識調査」「お客様満足度調査」及び「住民意識調査」をサイクル継続実施し、普及啓発の推進と共に継続した改善を図ります。

### (6) ユニホーム・帽子等の導入

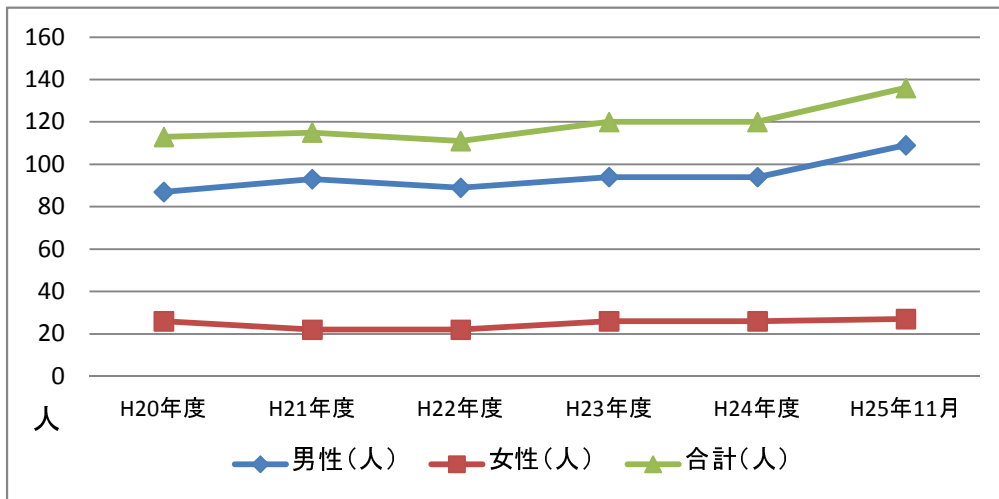
センターの会員が作業している状況等を町民の皆様に目で見え認識して頂けるようユニホーム・帽子等の導入を検討します。

以上

## VI 資料

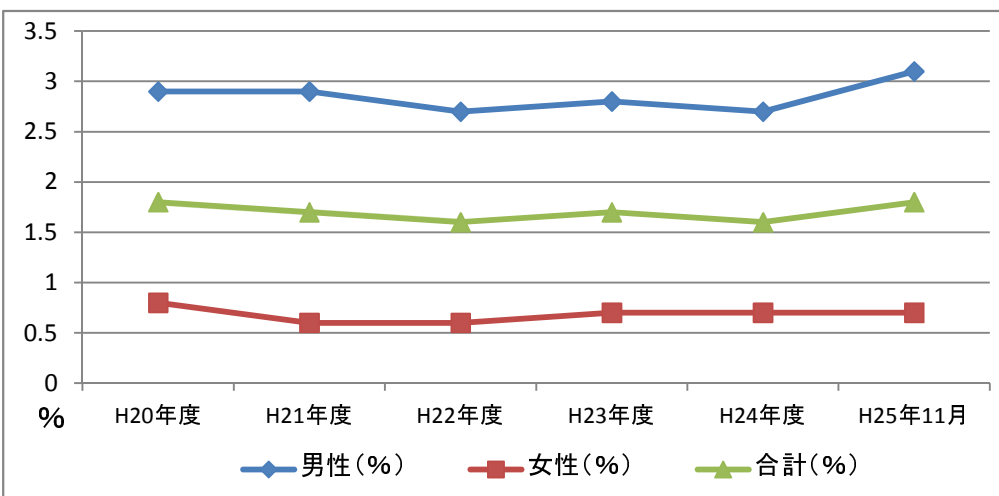
### 1、会員数の推移

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年11月
男性(人)	87	93	89	94	94	109
女性(人)	26	22	22	26	26	27
合計(人)	113	115	111	120	120	136



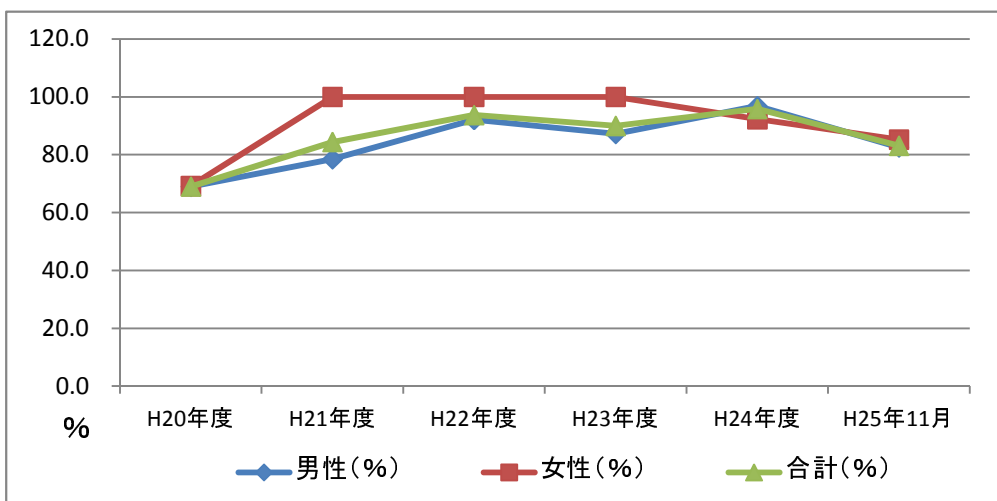
### 2、粗加入率の推移 (町の60歳以上の人口に対するシルバーへの加入率)

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年11月
男性(%)	2.9	2.9	2.7	2.8	2.7	3.1
女性(%)	0.8	0.6	0.6	0.7	0.7	0.7
合計(%)	1.8	1.7	1.6	1.7	1.6	1.8



### 3、就業率の推移

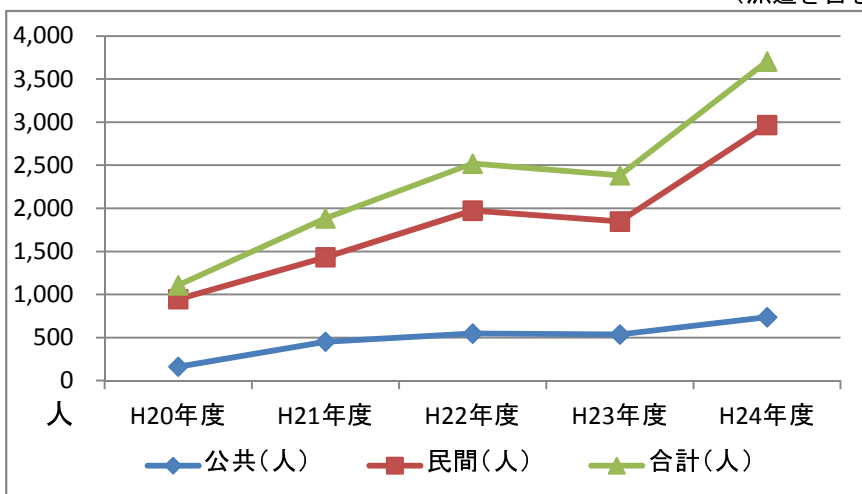
	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年11月
男性(%)	69.0	78.5	92.1	87.2	96.8	82.6
女性(%)	69.2	100.0	100.0	100.0	92.3	85.2
合計(%)	69.0	84.4	93.7	90.0	95.8	83.1



### 4、就業延人員の推移

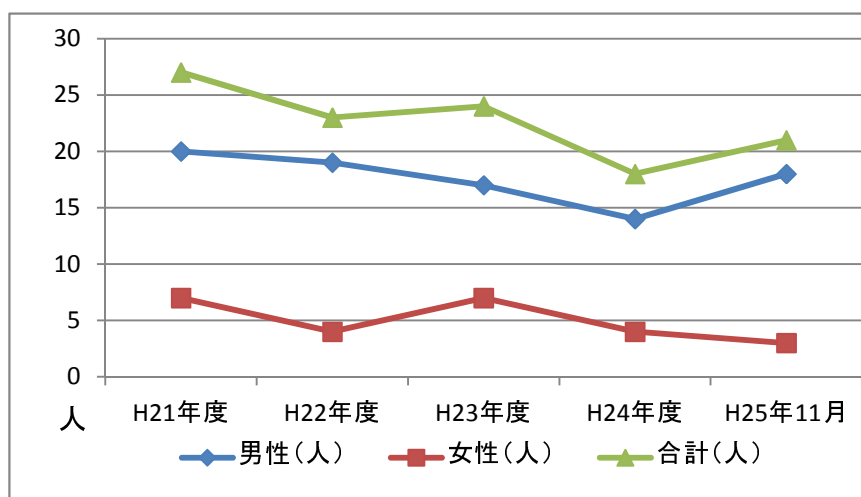
	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
公共(人)	162	452	546	536	737
民間(人)	946	1,433	1,973	1,848	2,968
合計(人)	1,108	1,885	2,519	2,384	3,705

(派遣を含む)



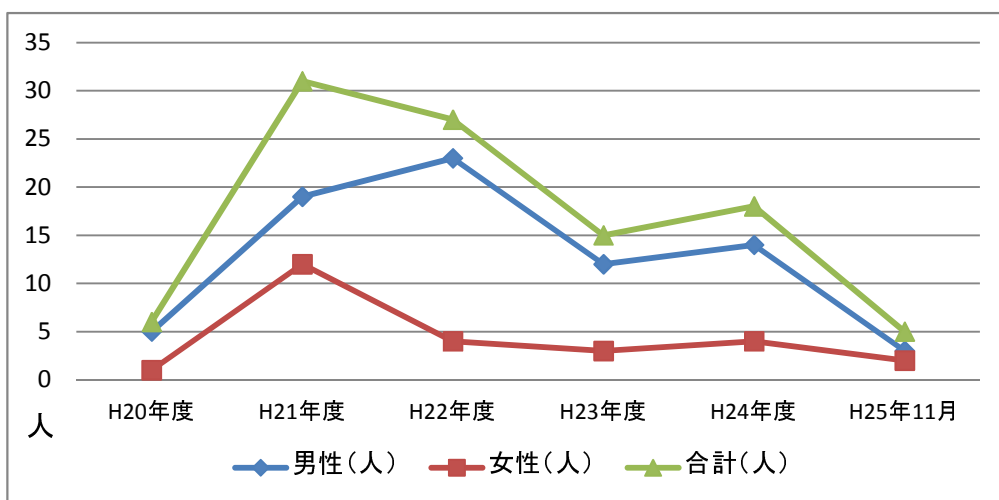
## 5、入会者の推移

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年11月
男性(人)	92	20	19	17	14	18
女性(人)	27	7	4	7	4	3
合計(人)	119	27	23	24	18	21



## 6、退会者の推移

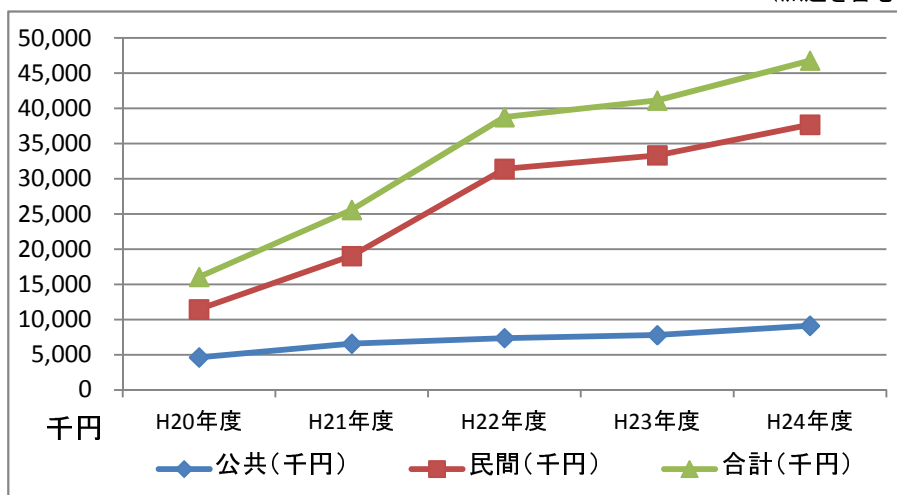
	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年11月
男性(人)	5	19	23	12	14	3
女性(人)	1	12	4	3	4	2
合計(人)	6	31	27	15	18	5



## 7、受託金額の推移

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
公共(千円)	4,619	6,560	7,372	7,787	9,114
民間(千円)	11,436	19,025	31,412	33,343	37,694
合計(千円)	16,055	25,585	38,784	41,130	46,808

(派遣を含む)



## 8、受託件数の推移

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
公共(件)	73	102	91	99	112
民間(件)	383	637	781	800	888
合計(件)	456	739	872	899	1,000

